

総合学習 ～地震体験へ～

3学期の総合的な学習の時間のテーマは『防災～命を守る～』です。今年度は、石川県能登地震をきっかけとし、地震から命を守るために、私たちは何ができるのかを考え、発信していきます。学習のきっかけとして、西消防署へ地震体験に行き、震度7の揺れを体験してきました。



新潟中越地震の揺れを体験して、最初は大きな揺れが来てから次に小さな揺れが来て、長かったということが印象に残りました。

(1組 Mさん)



昔は、震度計がなくて、人間が感じた進度で放送していたと聞いたことがびっくりしました。地震は、いつどこで起こるのかが分からないので、落ち着いて行動できるようにしたいです。

(1組 Kさん)



今日体験した地震は、カウントダウンがあったけれど、本当の地震はいつどこで起きるか分からないから、こわいなと思いました。そして避難するとなったら、何を持っていけばいいのかを調べようと思いました。

(2組 Iさん)

今日やったのは「体験」だけど、これが実際に起こるとなると、映像にあった通りに物が倒れたり、ぶら下がっているものがゆれたりしていて、創造しただけでもこわいです。親とかと避難場所を見直しておきたいです。

(2組 Iさん)